

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391300114
事業所名	認知症対応型共同生活介護ひょうたん山そよ風

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入している。 提灯祭り、防災訓練に参加、見学などしている。 ボランティアへの協力（朗読ボランティアなど） 散歩時での声掛け、挨拶など、地域住民へ積極的の交流している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	併設の小規模多機能施設との共催で、家族、町内会長や、民生委員、いきいき支援センターなどの参加を得て、情報発信、活動報告、災害時での対応の意見交換などが行われている。 開催日の工夫など、参加しやすい開催への協議が行われている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	介護指導課との連絡、報告、交流が、日常的に行われ、連携がある。 いきいき支援センターとは、運営推進会議や、日常的な連絡など、交流をしている。 市のキャリアアップ研修などに参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	職員紹介、入居者紹介など行い、行事への参加呼びかけ、「お便り」の発行をしている。 家族会の開催（年4回）がある。 苦情対応用紙を利用などして、希望、要望、意見の汲み取りをし、日常的に連携を深める対応がある。（話しやすい雰囲気作り。など）	○
重点項目⑤		評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価		×

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	—	—	×	○	×	

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。